

疼痛緩和外科・いたみセンターを受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	運動とアクセプタンス&コミットメント・セラピーを組み合わせたペインマネジメントプログラムの検討
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	（所属）疼痛医学講座 （職名）教授 （氏名）牛田 享宏
研究の対象となる方	研究実施承認日から 2027 年 11 月までにペインマネジメントプログラムに参加した患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2028 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>長引く痛み（3 か月以上続く痛み）を抱える方の中には、薬だけでは十分に改善しない場合があります。最近では、痛みにとらわれすぎず、自分にとって大切なこと（たとえば、家族との時間や仕事など）に目を向けながら生活することが、痛みと上手につきあう方法として注目されています。</p> <p>本研究では、そうした考えに基づいた心理的アプローチ（アクセプタンス&コミットメント・セラピー：ACT）と、運動を組み合わせたペインマネジメントプログラムの有効性について調べることを目的としています。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>本研究では、対象者の診療情報、質問紙の回答結果、プログラム前後の身体評価データなどを使用します。取得した情報は、氏名などを除いた個人が特定できない形式で集計し、統計的に分析します。研究成果は、学会発表や学術論文などで公表されることがありますが、個人が特定されることはありません。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報	試料： 非該当

の取得方法及び項目	<p>情報：</p> <p>性別、年齢、診療情報（疾患名など）、痛みに関連する質問紙（痛みの強さ、気分、考えなど）、身体評価結果（握力、身体組成など）等を電子カルテより収集</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への診療情報や評価データ等の利用を希望されない方は、 2028年2月28日 までに、郵送にて下記の問い合わせ先までご連絡ください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	<p>愛知医科大学医学部 疼痛医学講座</p> <p>担当者：（職名）特別研究助教 （氏名）中楚友一郎</p> <p>〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1</p> <p>電話 0561-62-3311（内線 12042）</p>